

学校だより YAMADA

新潟市立山田小学校

令和2年 9月10日

388名(9.7 現在)

TEL.025-377-2114

やまだ

Email: e717yamada-yakifuna@city-niigata.ed.jp

http://www.yamada-es.city-niigata.ed.jp/

イツァ ピース オブ ケイク

「 It's a piece of cake 」

校長 金塚 一明

直訳すれば「一切れのケーキ」

連載が12年にも及ぶ有名なマンガ「宇宙兄弟（小山宙哉：講談社）」でとても大事な言葉として繰り返し使われています。

主人公のムッタ（六太）。幼い頃、失敗やあきらめを繰り返す自分のダメさ加減がイヤになり、尊敬し敬愛する天文学者のシャロン博士という女性にたずねます。

「『俺はどうしようもない役立たずです』って英語で何て言うか教えてよ」

シャロン博士が教えた言葉が、この「It's a piece of cake」

小さいムッタは「僕は、ひとかけらのケーキの価値しかないダメ人間か」と落ち込みますが、後にその本当の意味「そんなの楽勝だよ！」というシャロン博士の励ましの言葉だったと知り、この言葉はムッタの心に深く刻まれることとなります。

そして、大人になり宇宙飛行士の訓練をするムッタ。シャロン博士が難病ALSであることを知り、深く悲しみ困惑します。シャロン博士は自分の身体が動かなくなっていく恐怖の中でムッタに、月面に望遠鏡を作るという非常に困難なミッションを託します。「私の事は心配しないで…覚える事は沢山よ？ついでこれる 覚悟はいい？」

これにムッタが答えた言葉も「It's a piece of cake」

シャロン博士への励ましであり、また覚悟の言葉「楽勝だよ！」

本来は、「ケーキ一切れくらいペロリと簡単に食べられる」ということから「簡単にできる、たやすい」という軽い感じの意味のようですが、この物語の中ではとても大きな意味をもつ重要なワードとなっています。

単なる「楽勝！」ではなく、本当につらく苦しいことでさえ、手も足も出ないと思えるような困難でさえ、ユーモアを交えながら前向きに、でも決意と覚悟をもって「そんなの楽勝だよ！」って言える強さ（言ってあげられる優しさ）を表す言葉です。

*

今、学校はコロナ禍の中、いつもと違う1年を過ごしている途中です。制限だらけです。いつもの行事もいつもの活動も思うようにはできていません。創意工夫にも限界があり、すべて100%完璧に対応はできません。腐心する毎日です。

そんな中、勉強が分からず自信をもてずにいる子どもたちがいます。

うまく友だち関係が作れず、トラブルを抱えている子どもたちがいます。

学校へ来ることに抵抗を感じながらも、それに負けずに頑張っている子どもたちがいます。

私たちは、日々、一人一人の子どもたちと必死に向き合い、教え、諭し、叱り、励まし、そして共に遊び、共感し合い、笑い合い…つながろうと努めています。

保護者・地域の皆さんから「先生、コロナで大変ですが学校は大丈夫ですか？」とたずねられた時、また「先生、うちの子をお願いします」と託された時、無理にでも笑顔を作って、でも心の中で覚悟を決めて、答えたいと思います。

「It's a piece of cake」（そんなの楽勝ですよ！）

夏休みが終わってから約3週間。運動会ももうすぐ！新たな気持ちでガンバリマス！！

